

| | |
|-------------------|------------------------|
| 平成 2 1 年度 実施事業 | 事務事業名 公共施設水洗化事業 |
|-------------------|------------------------|

| 区分 | 番号 | 名 称 |
|--------|-----|--|
| 章 | 2 | 自然とともに暮らすまち |
| 節 | 1 | 環境への負荷の少ないまちをつくる |
| 施策 | 3 | 生活排水の適正な処理 |
| 小分類 | 1 | 下水道の普及拡大と処理施設の適正な管理 |
| 主要な施策 | 1 | 下水道事業の促進 |
| 事務事業番号 | 003 | 事務事業コード 21311003 事業開始年度 平成 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度 |

| | | | |
|------|------|------------|------------|
| 会計種別 | 一般会計 | 予算書上の事務事業名 | 公共施設水洗化事業費 |
|------|------|------------|------------|

| | | | |
|-----|-----|-------|-----------|
| 部 名 | 総務部 | グループ名 | 政策推進室財政 G |
|-----|-----|-------|-----------|

| | |
|-----------------|--|
| 統合前または名称変更前の事業名 | |
|-----------------|--|

事務事業の目的と成果

| | |
|------------------|---|
| 対象 | (何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 公共施設（教育委員会・都市整備部所管施設を除く） |
| 手段 （事業の内容・活動） | (目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 下水道計画区域内の公共施設については下水道への接続、区域外は浄化槽による水洗化を行う。 |
| 目指す姿 （成果） | (事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 快適な生活環境づくりの一環として、公共施設の水洗化事業を実施し、環境衛生の向上と下水道の普及促進を図る。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 下水道法・都市計画法・下水道条例 |

指標の推移

| 区 分 | | 単位 | 区分 | 21年度 実績 | 22年度 目標 | 23年度 目標 | 24年度 目標 | 25年度 目標 |
|----------|--------------------------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | 下水道供用開始区域にある公共施設の水洗化実施箇所 | 箇所 | 目標値 | 4 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | | | 実績値 | 4 | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

事業費の推移

| 区 分 | | | 単位 | 21年度 決算 | 22年度 当初予算 | 23年度 見込 | 24年度 見込 | 25年度 見込 | 23～25年度 合計 |
|---------------------------------|-------|----|-------|------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|
| 事業 の 財 源 内 訳 | 国庫支出金 | 名称 | 千円 | 999 | | | | | 0 |
| | 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 地方債 | 名称 | 千円 | 7,100 | 0 | 2,300 | 4,000 | 2,600 | 8,900 |
| | その他 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 一般財源 | 名称 | 千円 | 112 | 0 | 1,200 | 1,500 | 900 | 3,600 |
| 合 計 | | | | 8,211 | 0 | 3,500 | 5,500 | 3,500 | 12,500 |
| (参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費 | | | 職 員 | 千円 | 132 | 0 | | | |
| | | | 嘱 託 員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | | 臨時職員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | | 合 計 | 132 | 0 | | | | |

担当グループによる事務事業評価の内容

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|--|---|---|---|
| 今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？ | → | 妥当である 妥当ではない | → 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ |
| 市有財産の水洗化であることから、市が実施することは妥当である。 | | | |
| 2. 事務事業の成果について | | | |
| 成果はあがっていますか？ | → | 成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない | → 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ |
| 下水道法に基づく下水道整備区域内にある公共施設は平成25年度でほぼ完了する予定である。 | | | |
| 3. 事務事業の成果向上について | | | |
| 成果を向上させることはできますか？ | → | 大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない | → どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ |
| 公共施設の水洗化事業は、供用開始にあわせて整備となるため、供用開始区域の拡大に左右される。 | | | |
| 4. 事務事業の経済性・効率性について | | | |
| 成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？ | → | 削減できる 削減できない | → どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ |
| 1施設にかかる工事の設計積算については、大小問わず同じなので、人工や所要時間のコストは削減できない。 | | | |

担当グループによる評価

| | | |
|----|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 本事業は、環境衛生の向上と下水道の普及促進を図る目的であり、事業を維持する必要がある。 |
|----|----------------------|---|

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

| | |
|----|----|
| 維持 | 備考 |
|----|----|

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）